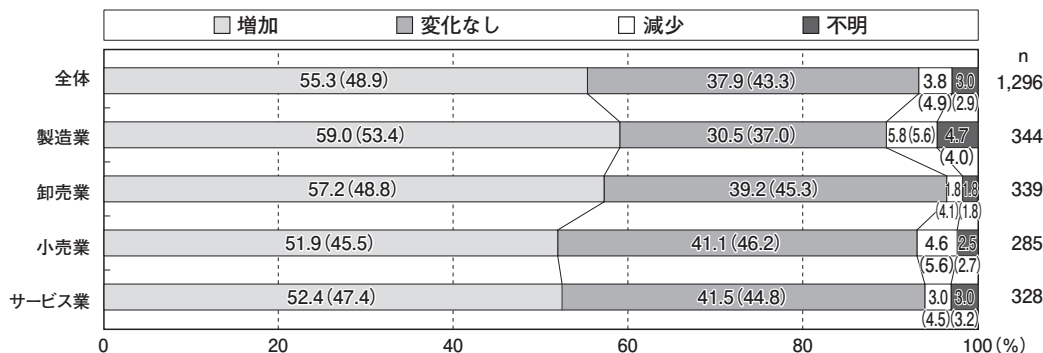


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2026年（令和8年）3月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が55.3%（前回調査48.9%）と最も高く、「変化なし」が37.9%（同43.3%）、「減少」が3.8%（同4.9%）の順で続いた。

図表8 コストの変化（前年同月比）



注) 無回答を除き集計。()内は前回調査(令和8年3月)の数値。

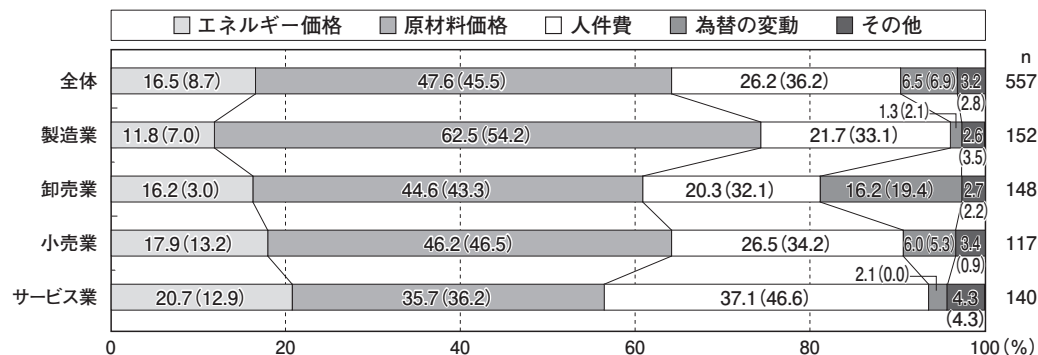
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が47.6%（前回調査45.5%）と最も高く、「人件費」が26.2%（同36.2%）、「エネルギー価格」が16.5%（同8.7%）、「為替の変動」が6.5%（同6.9%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「原材料価格」の62.5%（同54.2%）、卸売業は「為替の変動」の16.2%（同19.4%）、サービス業は「エネルギー価格」の20.7%（同12.9%）と「人件費」の37.1%（同46.6%）がそれぞれ高い。

図表9 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）(図表8)で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。

()内は前回調査(令和8年3月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。